

平成30年6月19日

生徒の皆さんへ

京都市立塔南高等学校

校長 小野 恭裕

地震発生時の避難について

昨日6月18日朝に、大阪府北部を震源とする最大震度6弱（マグニチュードは推定5.9）の地震があり、京都府南部でも震度5強や5弱を観測し、本校でも大きな揺れがありました。

気象庁によれば、今後、2～3日間は同程度の地震が発生する可能性が高いとされていることから、大きな揺れを伴う余震があった場合に備えて、地震発生時の避難については、基本的に次のとおり対応し、安全の確保に努めてください。

1 避難方法

緊急地震速報や地震による強い揺れを確認した場合、次のように避難する。

① 自分のいる教室の窓と出入り口の扉を開け、各自が机の下に入る。【1次避難】

※ 机など身を隠すもののない場所にいた場合は、丈夫な柱や壁に身を寄せて、頭部に落下物や転倒物が当たらないよう、手や鞄などで頭部を守る。

② 教員の誘導や放送による指示に基づいて、避難経路をたどり、グラウンドに避難する。【2次避難】

※ 暴風雨などの荒天時や被害の程度によっては、グラウンドではなく、建築年の関係で耐震基準を満たしている新体育館、東館、新館（生徒部や書道教室・AL教室のある建物）に避難することがある。

※ 避難する際には、荷物は持たず、私語をしないで移動すること。また、廊下や階段では走らず、校舎から外に出たら駆け足ですばやく移動すること。

※ グラウンドに移動した後は、教員の指示に従って安否確認を受けること。

2 避難経路

①北校舎

・東階段を利用する：303・304・美術室・図書館・401・402・403・404

・西階段を利用する：205・206・AL2教室・305・306・307・405・406・音楽室

②南校舎

・東階段を利用する：211・212・213・311・312・313・314

・西階段を利用する：214・215・216・217・315・316・317

※ 西階段を利用して避難する場合も、まっすぐ1階まで降りて中庭に出てからグラウンドへ避難する。

※ その他の校舎の教室は、1階まで降りて避難する。

上記の対応は、あくまでも地震発生時の基本的な対応です。地震の規模によっては大きな被害が生じ、この対応では避難が困難なこともあります。そのような場合は、身の安全を守るために、自分自身が最善の判断をしてください。